

「ハヤブサ」EV 総合優勝

静岡理工科大フォーミュラ大会で

六、十日に袋井と掛川両市にまたがる小笠山総合運動公園エコパで行われた「学生フォーミュラ日本大会2022」（公益社団法人自動車技術会主催）で、地元・静岡理工科大（袋井市豊沢）の学生サークル「自動車部フォーミュラプロジェクト」が、電気自動車（EV）部門で総合優勝を飾った。
（土屋祐二）



国内の大学生らが設計・製作したレーシングカーの性能を競う大会。EVとガソリンエンジン車（ICV）の二部門があり、ビジネスプランをプレゼンテーションする「静的審査」や、車両をエコパで耐久走行させる「動的審査」などの総合得点で順位を競った。

同大は「ハヤブサ」をコンセプトに、優れた運動性と耐久性を兼ね備えた新しいマシンを製作して大会に臨み、エネルギー効率、加速、耐久、デザインなどの各種審査で好成績を収めた。その結果、十三チームが参戦したEV部門で総合一位になったほか、国土交通大臣賞や日本自動車工業会会長賞なども合わせて受賞した。

チームリーダーの五十嵐洋太さん（三）理工学部機械工学科四年は「経験の少ないメンバーが多い中での参戦だったが、EV部門一位や各賞を獲得することができて非常にうれしく思う」と話した。

学生フォーミュラ大会EV部門で総合優勝した静岡理工科大自動車部のメンバー＝袋井市で